



## 【理念】

## 「愛し愛される病院」

## 【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

## 【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

## ごあいさつ

当院は医療の質向上を目的に『患者様満足度調査』を行っています。この調査は入院後一か月以内の中間調査と退院時調査の2回行っています。

中間調査のアンケート項目に当院を選択された理由についての問いがあります。その理由の1位は入院している病院から紹介された、2位は交通の便の良さ、3位は見学に来て印象が良かった、この3項目がいつも上位を占めています。紹介患者さまは年々増加し、平成29年度は75の病院から941名の患者さまをご紹介いただきました。ご紹介いただいた病院様に感謝いたします。

入院を希望された場合、患者さま・ご家族に病院見学をしていただいています。紹介された患者さま全員が当院を選択されるわけではありません。新築の病院見学をしてから当院に来られるとハード面で選択されないこともあるようです。それでも当院を選択され、その理由の中に見学に来て印象が良かったとのコメントが頂けるのはうれしい限りです。挨拶が会釈でなく、言葉でこんにちとは挨拶しているなどのコメントもあり、職員の統一した対応が浸透している結果だと考えています。今後もいただいたご意見を少しでも反映できるよう、取り組んでまいります。

## 「その人らしさ」のお手伝い ～社会復帰の為の演奏会、ご報告～

作業療法とは、「その人らしい」生活の獲得を目標に、基本的動作・応用的動作・社会的適応能力の維持・改善を図ります。

今回担当させていただいた患者さまは、発症前にピアニストとして働いていました。復職を強く希望されていたため、ピアニストとしての就労・生きがいを獲得するべく、作業療法の一環として病棟でのピアノ演奏会を開催しました。

衣装やヒールの靴でのフリーハンド歩行、予定・時間管理や、状況に合わせた臨機応変な対応ができるかを評価しました。また、入院患者さまに対し、歌やダンスの機会を取り入れ、音楽を通して入院生活の気分転換、精神賦活を図る事も目的としました。



開催までには難渋する場面も多くみられました。しかし、当院スタッフ、患者さまの会社スタッフ協力の元、無事に演奏会を開催することができました。結果として、参加された患者さまから好評で終えることができました。

今回演奏して頂いた患者さまは、この経験を機に、病院・施設でのボランティア活動も行っていきたいとおっしゃってくださいました。

今後も身体機能の回復や日常生活動作能力の向上だけでなく、その人のやりたいこと、生きがい、役割等、患者さまのニーズに合わせたリハビリを提供致します。

リハビリテーション科 作業療法士 なかむら みき 中村 美樹



星に願いを...

# 杉並りハ七夕祭

## 縁日会場



## 『杉並りハ七夕祭』を開催いたしました☆

さる 7/7(土)に七イベント『杉並りハ七夕祭』を開催いたしました。これは当院が回復期リハビリテーション専門病院になってから、患者さまに少しでも季節感を味わっていただきたく職員が企画・運営してきたイベントです。

これまで、患者さまを一同に集めての フルートや和太鼓の演奏などのコンサートを催してまいりましたが、今回は少し趣をかえ、「縁日」をテーマに 魚釣り・的あて・ボウリングの3つのアトラクションを用意し、患者さまがいつでも(10:00～16:00)ご利用いただけるようなおもてなしで“お祭り風情”を楽しんでいただきました。

この日は、「お昼の放送」や七夕行事食の提供もあり、夏の季節感を味わっていただけた一日になった事と思えます。短冊に託した皆さまの願いがかなうことを祈って…☆

総務課 くろつ ゆきこ 黒津 有季子

## “地域完結型”の医療を目指して ～ケア 24 善福寺企画 ミニ測定会ご報告～

当院における「健康増進活動」は、平成 26 年度より開始し今年度で 5 年目を迎えます。

地域包括ケアシステムにおいて、患者さまの在宅復帰を使命とする回復期病院では、“病院完結型”ではなく“地域完結型”の医療を提供してゆく必要があります。そのため、我々も地域の社会資源充実に貢献していくことが不可欠です。

「健康増進活動」は、地域包括ケアシステムの構築に貢献すべく

- ① ケア 24(杉並区地域包括支援センター)などとの協力体制の構築
- ② “地域完結型”の医療に貢献できる当院リハビリ科スタッフの人財育成
- ③ 社会資源の更なる充実に貢献できるよう健康教室参加者の中から支援者が生まれるような仕組みの構築

という 3 つの目標を掲げ取り組みを開始しました。

第 1 回目の活動はケア 24 善福寺企画による「ミニ測定会」への協力。

内容としては、10～15 分程度の体操を担当しました。その後も、ケア 24 の方々と相談しながら年間 10～12 回程度、講座や健康教室を行わせていただいています。現在、地域の他団体との合同企画、依頼された企画を当院で開催するなど、地域との“顔の見える関係性”が構築されてきています。今後も、地域の社会資源を充実させるため、「健康増進活動」としてケア 24 や地域の他団体を支援していけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



リハビリテーション科 理学療法士 おほら 小原 みおこ 菜穂子

## 健康教室のお知らせ

平成 28 年度より近隣の地域住民の方を当院へお招きし、健康教室を開催しています。

今年度は 9/29、11/24 に実施する予定で現在準備を進めています。

9/29 (土) 「正しい福祉用具の使用方法」

11/24 (土) 「高齢者の身体特性について」

各回共に講義ならびに体験、ゲーム形式での運動などを企画しています。

また開催にあたり近隣の地域包括支援センターにご協力頂き、地域住民の方にも運営側として参加して頂く予定です。

このように、元気な地域住民も地域を支える担い手となれる地域づくりを進めています。健康教室参加者の中から支援者が生まれるよう活躍の場を提供することも、当院の地域における重要な役割と考えています。

患者満足度調査アンケートより

## 患者さまの声

- ・食友ができて楽しかったです。
- ・各々の担当の方との連絡対応がとてもよく、いつも安心しておりました。
- ・優しい声掛け。リハビリで褒めて伸ばす感じで楽しく行えました。
- ・何より家に帰ることができよかったです。
- ・車いす生活になるのではと覚悟しておりましたが、皆様のお蔭で何とか歩けるようになりました。
- ・便秘のため、下剤を飲まなければならない、とても辛い日々でした。リハビリの皆さん親身になり訓練していただき、ありがとうございました。
- ・果物や野菜がもう少し食べたかった。

様々なお意見ありがとうございました。

## ◆ 平成 30 年 5 月～8 月入院患者数と紹介元医療機関

5 月から 8 月の 4 か月間における新入院患者は 143 名、紹介元医療機関は以下の通りです。  
(順不同、敬称略)

TMGあさか医療センター、稲波脊椎・関節病院、大久保病院、太田総合病院（神奈川県）、荻窪病院、河北総合病院、川崎幸病院、吉祥寺南病院、杏林大学医学部付属病院、久我山病院、慶應義塾大学病院、浩生会双葉病院、公立昭和病院、国際医療福祉大学三田病院、国立国際医療研究センター病院、埼玉医科大学総合医療センター、佐々総合病院、三楽病院、至誠会第二病院、順天堂医院、順天堂大学医学部附属練馬病院、湘南鎌倉人工関節センター、諏訪赤十字病院、聖路加国際病院、田中脳神経外科病院、東京医科大学病院、東京医療センター、東京衛生病院、東京警察病院、東京慈恵会医科大学附属病院、常盤台外科病院、所沢中央病院、新渡戸記念中野総合病院、八王子脊椎外科クリニック、浜田山病院、碑文谷病院、保谷厚生病院、武蔵野赤十字病院、武蔵野徳洲会病院、目白病院、目白第二病院（福生市）、山中病院、山梨県立中央病院、山本病院（清瀬市）、立正佼成会附属佼成病院 他 3 カ所

以上、48 カ所 ご紹介ありがとうございました。

## ～当院の現況～

	平成 30 年 6 月	平成 30 年 7 月	平成 30 年 8 月
ベッド稼働率	94.0%	98.9%	92.9%
入院延べ患者数	2,885 人	3,135 人	2,958 人

在宅復帰率（直近 3 ヶ月）…95.6%

重症患者割合（直近 6 ヶ月）…41.0%

重症患者回復病棟改善割合（直近 6 ヶ月）…59.3%

※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合

※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

## 交通のご案内



■JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分

## 編集 後記

「記録的な猛暑」と、メディアから何度も何度も聞いた今年の夏も終わりに近づいてまいりました。回復期専門病院の当院では、入院中の患者さまに少しでも季節感を味わっていただこうとさまざまなイベントを開催しております。今号ではそんな内外のイベントについて特集してみました。スタッフの頑張りのおかげで、当院も実りの秋をむかえられそうです。（編集委員）

医療法人社団 哺育会  
杉並リハビリテーション病院

内科・リハビリテーション科

■発行 行：杉並リハビリテーション病院

■発行責任者：門脇 親房

■編集 集：総務課

<http://www.suginami-reha-tokyo.jp/>

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 2-5-5

TEL:03-3396-3181 (代)



Facebook でも最新情報

を配信中♪